

## 【コース】 人体の構造と機能 1

### 【コースディレクター】

CD：永島 雅文(解剖学)

CD 補佐：栗崎 知浩(解剖学)

### 【コースの概要】

「人体の構造と機能 1」コースでは、医療における課題を自ら解決する意欲と探究心を持ち続けるためにヒトの体の全体像を理解することに主眼が置かれ、学期ごとの3ユニットで構成される。「人体の構造と機能 1-1」ユニットでは、ヒトという生物の位置づけと特徴を考えるとともに、運動を成立させる骨や筋肉の構造を学習する。「人体の構造と機能 1-2」ユニットでは、呼吸・循環・消化などの生命現象の構造基盤と、感覚と運動に関わる神経系の基本概念について学習する。「人体の構造と機能 1-3」ユニットでは、組織学と発生学の基本を身につけるための顕微鏡実習、肉眼解剖学の標本観察、診察体験を通じた神経機能の観察、さらに体の障害に対するアプローチとして臨床現場の実例が紹介される。

### 【目 標】

人体の構造と機能を学習する上で基幹となる概念を理解する。

ヒトの体の全体像をそのなりたち（発生と進化）に基づいて把握する。

### 【学習方法】

講義と実習により学習する。講義ではさまざまな構成要素の形態と、それらが形成される過程（発生と進化）、さらに構造に関連してどのような機能が営まれるかが解説される。さらに臨床現場から、体の構造や機能の障害に対してアプローチする実例を紹介する授業も組み込まれている。各種の標本観察や診察実習などの体験学習は極めて有効な学習機会であるから、主体性をもって取り組んでほしい。尚、授業の形式に含まれる講義と実習は毎回厳密に出欠を確認する。出席に関しては実習の時間も講義として取り扱う。

### 【評価方法】

学期末に定期試験を行う。MCQ(選択式問題)を50%、記述式問題を50%の比率で出題し、得点を合算して総合評価とする。

総合評価では65%を合格基準とする。この基準に達しない場合は、学年末にユニットの再試験を受験する。再試験は定期試験と同じ形式とし、合格基準は65%である。

### 【指定教科書】

- ◆ 日本人体解剖学 上巻 (南山堂) 第20版
- ◆ 日本人体解剖学 上巻 (南山堂) 第20版
- ◆ 身体診察と基本手技 基礎臨床技能シリーズ5 (メジカルビュー社)

**【参考書】**

- ◆ 標準組織学 総論 (医学書院) 第5版
- ◆ 標準組織学 各論 (医学書院) 第5版

## マイルストーン評価

### 【コース】

人体の構造と機能 1

### 【コースディレクター】

永島 雅文 (解剖学)

### 【コンピテンス】

2. 基盤となる医学知識と問題対応能力

### 【マイルストーン】

2-(1). 人体の正常構造と機能について概説できる。

### 【評価方法】

2-(1). 各ユニットの筆記試験 (コースとして判定)

### 【補習および再評価の方法】

2-(1). 3つのユニットの定期試験および再試験で不合格となった学生のうち、条件付き進級 (1ユニットの再履修) の対象者に対して、当該ユニットに必要な補習を行ない、特に重要度の高い課題に関するレポートを提出させて、再評価する。